

横手市公立保育所民営化法人候補者選定委員会
審査結果報告書

1. 横手市公立保育所民営化法人候補者選定委員会の設置

公立保育所の民営化法人候補者を厳正かつ公正に選定するため、横手市公立保育所民営化法人候補者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置した。

なお、選定委員会の構成は次のとおり。

- 委員長 藤本 和宏（副市長）
副委員長 田村 憲（南教育事務所 総務・幼保推進班 副主幹）
委員 柴田 久美子（南教育事務所 総務・幼保推進班 幼保指導員）
委員 高橋 喜晃（税理士法人イソネット 秋田横手事務所 所長）
委員 谷藤 直子（さんない保育園保護者の会 会長）
委員 竹原 信寿（市民福祉部 部長）
委員 木村 互（まちづくり推進部山内地域局 局長）

2. 選定委員会の開催（全2回）

回	開催年月日	内 容
第1回	令和5年5月26日	・概要説明 ・審査基準及び評価方法について ・現園舎の視察（さんない保育園）
第2回	令和5年6月22日	・審査基準及び評価方法の確認 ・応募法人によるプレゼンテーション及び審査 { プレゼンテーション { 質疑応答 { 委員意見交換 { 審査・評価

3. 応募状況

移管対象保育所	応募法人名（所在地）
さんない保育園	社会福祉法人 明照福祉会（横手市前郷一番町4番4号）

4. 審査方法

横手市公立保育所民営化法人候補者選定委員会実施要領に基づき、応募法人からの提出資料と事業提案説明（プレゼンテーション）について、次の審査項目・評価基準に基づき審査した。

(1) 評価項目及び配点

着 眼 点	配点
項目 1 法人及び保育所運営について	50
(1) 移管保育所を運営するにふさわしい応募動機を有しているか。	10
(2) 法人の運営は、社会福祉の理念に沿っているか。	5
(3) 法人の沿革や理事会等の体制は、良好な保育所運営を期待できるか。	5
(4) 職員の労務管理は適切であるか。	10
(5) 安定的な経営を行うための財政的余裕があるか。	20
項目 2 保育所の運営状況について	15
(1) 保護者に対して、保育理念や目標等が情報提供できているか。	5
(2) 過去3年の行政指導監査において、重大な指摘事項がなかったか。また、指摘事項についての適切な改善が行われているか。	5
(3) 職員の配置や職務分担はバランスの取れたものになっているか。	5
項目 3 移管保育所の設置・運営について	140
(1) 保育理念や目標、基本方針、保育の姿が子どもを主体としたものになっているか。	15
(2) 職員の資質を向上させるための研修機会等は十分であるか。	10
(3) 児童の健康管理に対する配慮は適切か。	5
(4) 児童の発育や健康状態に応じた給食や食育への考え方は十分かつ適切か。また、アレルギー児等配慮を要する児童に対し適切に対応可能な体制があるか。	5
(5) 障がいがある等の特別な支援を要する子どもの保育について十分に理解があり、対応が適切か。	10
(6) 衛生管理、安全管理の考え方は十分かつ適切か。	5
(7) 保護者との連携、連絡体制は適切か。	5
(8) 地域住民との交流や行事参加、地域貢献、公共機関等との連携について積極的に取り組むものになっているか。	5
(9) 虐待等が疑われる子どもの早期発見と適切な対応を行うものになっているか。	5
(10) 緊急時の危機管理に関するマニュアルを整備し、訓練体制を確立しているか。	5
(11) 要望・苦情等に対する処理体制の取組は評価できるか。	5
(12) 職員の処遇や雇用形態、継続的な雇用に関する考え方は適切か。	10
(13) 施設長及び主任保育士の保育所等における経験年数は十分か。	5
(14) 特別保育事業に積極的に取り組むものになっているか。また、必要性を理解し、具体的な方向性を持っているか。	10
(15) 園解放、子育て相談等地域の子育て支援に積極的に取り組むものになっているか。	5
(16) 引継保育に対する考え方や対応は適切か。	10
(17) 移管保育所に勤務している臨時保育士等について、積極的に正規（常用雇用）職員に採用する職員配置計画となっているか。	10
(18) 収支予算計画は適切であり、良好な施設運営が見込まれるか。	10

(19)	移管保育所の施設の適切な維持管理・老朽化対策が示されているか。また、将来的な施設整備のための自己資金確保の見込みはあるか。	5
評価点合計		205

(2) 得点化方法及び総合評価点の算出方法

①得点化方法

	評価基準	評価	得点化基準
非常に優れている	「市が求める基準」全てに該当し、「さらに評価する事項」全てに該当する	A	配点×1.00
優れている	「市が求める基準」全てに該当し、「さらに評価する事項」がある	B	配点×0.80
適切である	「市が求める基準」全てに該当する	C	配点×0.60
やや劣る	「市が求める基準」のいずれかに該当しない	D	配点×0.40
劣る	「市が求める基準」に全く該当しないが評価できる事項がある	E	配点×0.20
非常に劣るまたは該当なし	「市が求める基準」及び「さらに評価する事項」等全てにおいて該当しない	F	配点×0.00

※項目2について、認定こども園または特定地域型保育事業を現に運営している場合は上記の得点化基準に0.9を乗ずるものとし、その他の施設を運営している場合はF評価（該当なし）とする。

※C評価は概ね認可保育所の設置・運営基準を満たすものであり、適切な保育を行うことが可能と判断されるものである。

②評価のための基準の設定

「市が求める基準」を明確化するため、関係法令や基準、保育所保育指針等を根拠として、保育所を運営するにあたり満たすべき事項、及びさらに評価に値し加点すべき事項を設定し、これに基づき選定委員が審査を実施することとした。

③総合評価点の算出方法

- ・審査項目1～3ごとに各委員の評価点の平均点を算出する。なお、平均点の算出時には、最高得点及び最低得点の委員2名の評価点を除外する。
- ・審査項目1～3ごとの平均点の合計を総合評価点とする。

④候補者の選定

- ・総合評価点に基づき応募者の順位を決定し、第1位から順に優先交渉相手とする。
なお、総合評価点が205点満点中123点未満の場合は、市が求める基準を満たしていないものとして、候補者から除く。
- ・全ての応募者が総合評価点123点未満の場合は候補者なしとする。

5. 審査結果

(1) 応募法人の審査結果

移管対象保育所	応募法人名	総合評価点	審査結果
さんない保育園	社会福祉法人 明照福社会	126.20	合格

※審査委員：柴田委員、田村委員、高橋委員、谷藤委員、藤本委員、竹原委員、木村委員 計7名（欠席者なし）

(2) 応募法人の評価内訳

項 目	配 点	平均点
1 法人及び保育所運営について	50	25.00
2 保育所の運営状況について	15	10.80
3 移管保育所の設置・運営について	140	90.40
総合評価点	205	126.20

(3) 選定委員の主な意見

- ①保育園児だけではなく、他の方も利用できるというところについては良いなと思った。
- ②保育の部分はどうしたいかの話が少なく、施設を維持していくことしか提案として出ていなかった。
- ③プレゼンの内容は理想として理解できるが、費用的なところも含めて実際にできるのか疑問である。
- ④預貯金が少ないと感じた。
- ⑤令和7年度の運営収支計算書は、未来の収支なので実際とはブレが出てくる。現在運営している保育園の分だけで判断するのが適当でないか。

6. 総 括

横手市公立保育所民営化法人候補者選定委員会設置要綱第2条第2号に基づく審査の結果、さんない保育園の民営化法人候補者として、社会福祉法人明照福祉会を選定する。

なお、審査結果は、要綱第8条に基づき市の担当窓口及びホームページにおいて公表する。

以上、報告します。

令和5年7月18日

横手市長 高 橋 大 様

横手市公立保育所民営化法人候補者選定委員会
委員長 藤 本 和 宏